



第12回 漂着物の調査 開催報告

開催日 2024年10月19日 (土)

1. 遠州海岸の現状説明

◎講師：Hamamatsu-浜松の海を守る会 清水浩利氏

- ・遠州灘の位置と様子
 - ・遠州灘海岸の問題点 ごみ・海岸浸食・松枯れ
 - ・漂着ごみの問題・種類・どこから来るの？
 - ・マイクロプラスチックとは
 - ・生物への影響
 - ・私たちの責任で出来る事
- ①清掃活動 ②モニタリング調査



3.参加者の声

- ・海の事やごみの分別をして、どのようなごみが多いのかが分かった。
- ・海がどれだけ汚れていて、どれだけごみが流れているということが分かりました。
- ・ごみをなるべく出さない。海に行ってごみが落ちていたら拾って帰りたい。
- ・ごみが海にあることで、生き物に影響が出て将来、魚が食べられるか分からないことになるかもしれないから気をつけていきたい。
- ・被覆肥料の存在を初めて知って驚いた。
- ・細かな漂着ごみが多くて、これをなくすにはごみに対する意識を多くの人に変えなければならないと思った。被覆肥料の存在を知らずにいたので、実物を見ても砂浜では見分けがつかないなと心配になりました。プラスチックが思っている以上に多かったです。
- ・プラスチックシートや発泡スチロール破片が多いことに驚いた。また、ペットボトルも多く、身近なものがたくさん捨てられているのだということを実感した。

2. 漂着ごみの調査

- ・10月7日回収@馬込川右岸河口 3袋分 **9.65kg**
- ・漂着ごみの分別作業と「ごみ調査・データカード」の調査対象45品目の個数を数えた。(破片は、直径2.5cm以上のものが対象となっています。)

回収量 合計895個

1位	プラスチックシートや袋の破片	488個
2位	発泡スチロール破片	157個
3位	飲料用プラボトル (ペットボトル)	64個
4位	硬質プラスチック破片	58個
5位	飲料缶	40個

